

有馬富士公園で子育て支援☆ ～公園を好きなママになってもらおう！～

山本梨香 (子育て支援グループ キララ)

はじめに

私たち“キララ”は平成13年に三田市の子育て支援者養成講座を受講した有志で結成したグループです。

“キララ”という名は、小さな子どもをかかえて知り合いも居ない三田に来て子育てに苦しい思いをしたメンバーが、ママたちに“キラキラ笑って子育てをしてもらいたい”との思いから名付けられたものです。

活動内容は、ママのストレスが発散できるようなイベントや講座・講演会を託児付きで開催、依頼があれば24時間年中無休でお子さんの託児を行っています。三田市委託の子育て広場や企業・行政などのゼミナー開催時の託児もしています。

メンバーは幼稚園や保育所の先生、助産師、授産施設の職員、主婦などです。そのような活動の中で「虫嫌いのママが多く、虫が好きな子どもが怒られている。」という場面に出会うことが多々ありました。アンケートを取ると虫嫌いの人たちは自然全般に興味がなく、子どもに体験させることもないし、させたいとも思わないということがわかりました。自分自身が自然に触れ合っただけという思い出が少ないことも合わせてわかりました。

“せっかく自然に興味を持ち始めた子どもたちの関心の目を摘まないようにできないだろうか?”、“ママを虫好きにできないだろうか?”と考えたことが出発点でした。

方法

そこでそれまで利用していた市民センターで活動することを減らし、“有馬富士公園”で活動してみることにしました。

当時の有馬富士公園の担当者から有馬富士公園には“夢プログラム”という2人以上のグループが公園で来園者に提供するプログラムをサポートするシステムがあることを教わり、部屋代がかからない等小さなグループにはありがたい利点が多いこと、自然学習センターが同じ敷地にあることから公園を利用することにしました。

自然豊かな公園で一目、公園とは関係ないようなママの興味を引く手芸などを託児付きで開催します。最近はヨガやマッサージなども行っています。時間もママが出やすい平日の午前中に設定しました。



結果と考察

予想外に有馬富士公園を知らなかった人が多いことに驚きました。小学生になると学校から遠足等で訪れるのですが就学前の子どもの親は公園が大きすぎて近所の公園で十分だと興味がなかったようです。

まずは有馬富士公園を知ってもらいきっかけとして役に立ったようでした。そして講座の時間設定を午前中にしたことで終了時刻にはママも子どももお腹が空きます。公園にはレストランはありません。お弁当を持ってくる人が増えました。

お弁当を食べたら「時間もあるし公園を散歩しようか？」と出かける人が現れました。散策するだけではなく予想通り、自然学習センターに行って各種イベントを楽しむ人が出てきました。学習センターの周知にもつながりました。

ママは午前中に子どもと離れてリフレッシュしているので子どもに優しくなっています。子どもにも楽しい時間を持たせようと思ってくれているようです。

そのうちに友達を誘ってくるようになり、講座の後はお弁当を食べて公園で遊んで帰るようになりました。中には土日にパパや家族を連れて公園に来る人が出てきました。

パパと一緒に来ると虫を子どもと一緒に追いかけたり、芝生で走り回ったり、少し距離のある場所まで出かけたりと一日公園で楽しく過ごす人も増えました。

キララの作戦、大成功です！

子ども連れの人には公園の中でも遊具のある所で遊ぶ家族が多い中、キララのリピーターは遊具のない所から公園に触れているので、のんびり自然を子どもと楽しめるようになっていきます。虫嫌いが全くなくなった人ばかりではありませんが、自然を楽しむ事ができるようになった人は多くなりました。葉っぱを拾ってママに見せても「汚いから捨てなさい！」と叫ぶようなママはいなくなりました。

日常的にゆったり子育てすることは難しい時代ですが、今後もキララの講座をきっかけに公園で楽しめる人が少しでも増えるように、企画を練っていきたいと思います。

また有馬富士公園の“夢プログラム”のシステムを沢山の人の知ってもらって、自然あふれる公園と一緒に子育て支援をしてくれる仲間作りも頑張りたいと思います。

～ママがキラキラ輝く笑顔で子育てできますように☆～

